

第22回 けんぶち絵本の里大賞



《作品名》

れん 恋ちゃん はじめての看取り

《作者》

國森 康弘（写真・文）

《出版社》

（株）農山漁村文化協会

琵琶湖の東側に位置する滋賀県東近江市。その山沿いにある甲津畑という集落で、小学5年生の恋ちゃんはおおばあちゃんと暮らしています。大好きなおおばあちゃんは92歳、急に体が弱くなり布団から出られなくなってしまいました。大好きな人を看取り「死」と向き合う恋ちゃん。死とは悲しいものですが、読み終えたあと、あたたかな気持ちになれる一冊です。

10月1日、大人も子どもも好きな絵本を自由に投票し、決定する、けんぶち絵本の里大賞の開票作業が、絵本の館で行われました。絵本の里大賞の投票期間中には道内外からたくさんの方が絵本の館に訪れ、期間中、8,915票が投票されました。今回の応募作品数は295点で、その中から第22回けんぶち絵本の里大賞に、國森康弘さんの『恋ちゃん はじめての看取り』が決定しました。

びばからす賞には、長谷川義史さん作・絵の「まわるおすし」「ようちえんいやや」の2作と、にしもとようさん文・黒井健さん絵の「うまれてきてくれてありがとう」が受賞されました。

また、アルパカ賞には、のみみさん作「ぼく、仮面ライダーになる！フォーゼ編」が選ばれました。

受賞された作家の方たちは、2月17日開催予定の絵本の里大賞授賞式及び歓迎レセプションにご出席されます。絵本作家さんに会えるチャンスですので、楽しみにしていってください。



総投票者数

2,030人（昨年2,038人）

総投票数

8,915票（昨年8,844人）

期間中来館者数

8,506人（昨年8,494人）

投票期間

8月1日～9月30日

びばがらす賞



《作品名》
まわるおすし
《作者》
長谷川 義史（作・絵）
《出版社》
㈱ブロンズ新社

「きあいいていくぞー！」
おとうさんのゲキがとんだ。
「くいのないようにな！」
つきにいちどの「まわるおすし」
にかけるかぞくの情熱を、ユーモアたっぷりに描きます。



《作品名》
うまれてきてくれてありがとう
《作者》
にしもと よう（文）
黒井 健（絵）
《出版社》
㈱童心社

ぼく、ママをさがしているの。
じぶんのこどもをやさしく包んでくれるママたち。ぼくもママに言ってもらいたい。あの言葉を……。母からの愛がいっぱいつまった絵本です。



《作品名》
ようちえん いやや
《作者》
長谷川 義史（作・絵）
《出版社》
㈱童心社

たけしくんが、まなちゃんが、つばさくんが、今日も泣いている。みんな幼稚園にいくのが嫌なんだって。どうしてかな？ちゃんと、理由があるんだよね。

アルパカ賞

《作品名》
ぼく、仮面ライダーになる！
フォーゼ編
《作者》
のぶみ（作）
《出版社》
㈱講談社

ある日、かんたろうが集めていた大切なカードがなくなっていました。焦ったかんたろうはママのせいにして……。ママを悪く言ったことを反省したかんたろうは、逃げずに悪者と戦います。

